

1. 事業概要

【1】文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の説明

(1) 目的

地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化、地方への人口集積等の観点からは、地方大学が果たす役割に、極めて大きな期待が寄せられている。

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」は、平成 25 年度からの「地域のための大学」として、各大学の強みを生かしつつ、大学の機能別分化を促進し、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地（知）の拠点整備事業（COC 事業）」を発展させた事業であり、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取り組みを支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする。

(2) 事業実施者

文部科学省

(3) 事業対象

国公立大学・高等専門学校及び関係団体

(4) 事業期間

平成 27 年度から平成 31 年までの 5 年間

(5) 採択

平成 27 年度は、各大学より 56 件の申請があり、42 件採択
(参画する大学は、延べ 256 校)

【2】紀の国大学の事業概要

(1) 事業名

わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築

(2) 事業実施機関

和歌山大学

(3) 事業協働機関

参加大学	大阪市立大学・大阪府立大学・摂南大学 和歌山工業高等専門学校・和歌山信愛女子短期大学
参加自治体	和歌山県
参加企業等	紀陽銀行・和歌山県経営者協会 和歌山県中小企業団体中央会
協力大学	関西大学・近畿大学・和歌山県立医科大学

(1) 目的

和歌山県の深刻な地域課題に向き合いつつ、秀逸な自然環境と文化資源を活かしながら、わかやまの未来を切り拓く若者を育むとともに、新たな雇用を創出し、地域への定着を図ることにより和歌山県域における地方創生に貢献することを目的とする。

(2) 概要

事業実施のために和歌山県全域をキャンパスとするネットワーク大学「紀の国大学」を、県内大学・高専と大阪府内のCOC採択の総合大学及び和歌山県、県内企業等の参画を得て構築する。地域の力を借りて地域の課題に即した実践的なキャリア教育プログラム（協働教育）を紀の国大学として展開する。和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略から、大学が貢献できる4つのテーマ：**6次産業化／商品・技術開発／移住先進地の再興／命と生活のインフラ**を柱に定め、教育プログラムを構築する。また、4つのテーマを**ブランディング**が貫く。いずれのテーマにおいても顧客の求める価値を高めることを意識しつつ実践的な教育を体験することで**地元就職増**を果たし、協力する企業等が成長することで雇用創出増を生み、地域の魅力が高まることで移住者も増加し、次第に**定住人口増**に至る。

そのために、和歌山大学では、地域と協働で実践力を鍛える地域協働自主演習及び就職を意識した実践型インターンシップからなる全学共通の副専攻制度である「わかやま未来学副専攻」を新設し、1年次より地域を体験する学修を行うとともに、社会人の県内へのUターン・Iターンに資するため、再チャレンジコー

ス「わかやま未来塾」を新設する（将来）。また、和歌山大学から郷土を見つめ郷土への愛着を育む「わかやま」学群を事業協働機関の各大学・高専（以下、COC+参加校）に提供する。さらに、和歌山大学及びCOC+参加校間で県内各地のフィールドを互いに開放し共同教育を行うことで、地域での学生の活動を拡大する。この事業全体を支える組織として「紀の国大学協議会」を設立し、COC+推進コーディネータの下で運営管理するとともに、その成果を県内に広く伝えることが本事業の目的である。